



中国の圧力には屈せず、
魚釣島に上陸し1泊する。

尖閣を第2の竹島や北方領土にさせない!

竹島、北方領土は歴史問題、しかし**尖閣は未来の問題。**

先頭に立って守り抜きます。

我が国の領土でありながら韓国とロシアに不法占拠されている竹島と北方領土。尖閣を同じ運命に陥れてはならない。そのために、私は必ず尖閣に上陸する。そして領土を守る。



1



強い日本を作りたい

魚釣島をバックに

2度目の視察後、石原都知事と国会で参考人質疑

視察後の記者会見



3度目の視察は久場島で海洋調査



尖閣に三度行った国会議員は向山好一だけ

石垣島疎開船戦時遭難事件

戦争末期の昭和20年7月、石垣島民170名を乗せて台湾に向かってた疎開船2隻が、洋上米軍に狙撃され1隻は沈没、110名を乗せたもう1隻は尖閣魚釣島に漂着した。しかし上陸後、飢えと疲労、病気によって80名の方々が亡くなられた。その遺族が昭和44年に魚釣島に慰霊碑を建立し慰霊祭を行ったが、その後上陸許可が下りず現地での慰霊祭は一度だけに終わっている。尖閣にはこのような悲しい歴史が存在する。(右の写真は、平成24年8月18日に行われた石垣島にある慰霊碑前での慰霊祭と魚釣島の崩れかけた碑石)



(左下)魚釣島の慰霊碑は風化が激しく壊れかけている



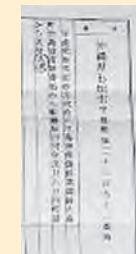
東アジア地勢図

中国の野望「太平洋への進出」のためには尖閣を領土化することが至上命題。
(左の地図是北京から東側を見たもの。太平洋に向かって日本列島が覆いかぶさっていることがよく分かる。中国にとって日本列島は邪魔者なのである。)

Point

沖縄県石垣市登野城2392

これが尖閣諸島・魚釣島の住所表示です。それは明治28年から100年以上続き、昭和10年頃には250名の日本人が住んでいました。今なおここに56名の方々が本籍地を置いています(平成24年9月現在)。どこに中国が領土を主張する根拠があるのでしょうか。この理不尽極まりない中国の圧力は侵略行為であり、断固戦います。中国が国際司法裁判所に提訴する意思があるのなら日本は堂々と共同提訴に応じるべきです。領土と主権を守れない国に、繁栄は決して続きません。



尖閣の戸籍謄本